

先月号で紹介したモール糸と同様にベロア調素材も冬物衣料に使用されることの多い素材ですが、パイルの脱落や色相の変化などが生じやすい素材でもあります。

今回は、ベロア調素材のパイル脱落を紹介します。

監修／クリーニング総合研究所

衣類の状態

ジャケット右側の上衿と下衿の縫い目付近のパイルが脱落し、基布が露出している。

クリーニングから返却された後に利用者が気づき、申し出があったもの。いつの時点で生じたものかは分からない。

事故の防止対策

パイル織物の製造に関しては、摩擦などの物理的作用に対して十分な強度を持たせることが望まれる。また、パイルの形状はW型よりV型の方が脱落しやすいことに留意すること。

クリーニングでの受付時には、裾まわりやズボンの膝裏、ポケット口、上着では衿まわりや衿先、袖口など着用で摩擦を受けやすい部分のパイルの状態を十分に点検する。

さらに、利用者にはクリーニン

原因

着用やクリーニングの物理的な作用でパイルが脱落したものと推定される。

グ処理により着用摩擦を受けやすい部分のパイルが脱落する可能性があることを説明し、了解を得た上で処理することが望まれる。クリーニング処理後、返却前の点検等で変化を確認した場合、直ちに利用者に連絡し、対応を協議することが望まれる。

ベロア

元々は、紡毛織物の表面を毛羽立たせるベロア仕上げのこと。

このベロア仕上げに似せて作られたものに「ベロア調素材」があり、現在ではこれらを総称してすべてが「ベロア」と呼ばれている。

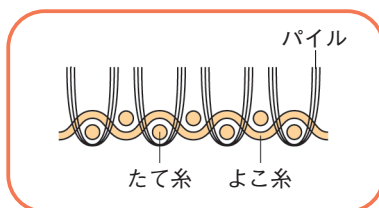
●**パイル織物**…たて糸やよこ糸で布地の片面にパイルを作り、それをカットして毛羽を立たせたもの

●**パイル編物**…パイル編のパイルをカットして毛羽を立たせたものの

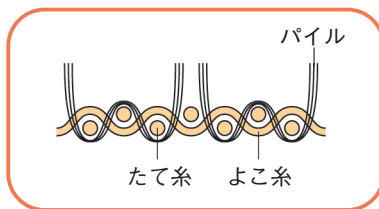
●**フロック加工布**…織物、編物の上に接着剤を塗布し、毛羽を電氣的に植毛したもの

今回の事故品に使われているベロア調素材は、よこ糸でパイルを作るよこパイル織物に該当する。同じよこパイル織物のコーデュロイは、たて方向にうねができるのが特徴で、カジュアル衣料に使われることが多い。

一方、ドレスやコート、装飾品などに使われるベルベットは、たてパイル織物の代表で、素材は絹、ポリエステル、レーヨン、綿など光沢が強いのが特徴。



V型のパイル



W型のパイル



パイルが脱落し、基布が露出している



上衿と下衿の縫い目付近のパイルが脱落したジャケット

素材特性に注意

着用・保管取扱いに注意

■品名…ジャケット
■素材…綿 73%、レーヨン 27%

■取扱い絵表示…

■処理方法…テトラクロロエチレンによるドライクリーニング、タンブル乾燥、ボックススチーム仕上げ

●「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。
全ク連 HP <https://www.zenkuren.or.jp>
「お知らせ」→「衣料管理情報」